

## 奈良公園観光地域活性化総合特区

[指定：平成25年9月、認定：平成26年6月]

## I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4+4)/2=4$ 

4.0

## i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	奈良市の観光入込客数の増加	98%	4
2	奈良市の宿泊者数の増加	89%	4
3	奈良市の観光消費額の増加	86%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 0 + 4 \times 3 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4$ 

4.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

## ■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

## ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

## II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(4+3.8+4)/3=3.9$ 

3.9

## i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

## ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

## iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.8

- ・全体的にステップが明確に示され、十分優れた取組みが展開されている。
- ・地域独自の取組みについて、奈良の観光特性・条件に良く適合した内容であり、色々とあって良い。Free-Wi-Fiの追加整備、トイレの改修工事など、満足度の向上に繋がる整備が着実に推進されている点は高い評価に値する。
- ・本事業では地域通訳案内士の育成に重点が置かれているので、地域通訳案内士に関する育成状況や稼働状況を前面に出すべきである。稼働状況は、現状では不十分である。
- ・育成してきた地域通訳案内士の活用の場づくり(観光案内所や観光関連施設等との連携等)と仕掛け(旅行会社とのマッチングや定期観光バス運行との連携等)が望まれる。歴史文化都市としての特性を生かした付加価値が高い観光コンテンツを一層磨くことで、背景やその本質を伝える地域通訳案内士の活躍の場も広がることにつながる。
- ・消費額拡大に向け、県内広域周遊を促すことで、宿泊滞在者を増加させる取り組みを強化されたい。
- ・観光消費額の増大、奈良観光の大きな課題である高級・高額ホテルの立地促進のためにも、「MICE」(Meeting, Incentive tour, Convention, Exhibition)とりわけ相対的に会場・宿泊収容力が少なくても開催のポテンシャルが高い「M・I」の誘致に向けた取組みが望まれる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.8

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(4+3.9+3.8 \times 2) \div 4 = 3.9$

3.9

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。